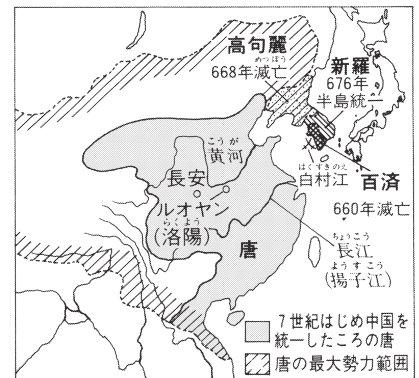


# 第5講座 飛鳥時代・奈良時代

|    |              |                              |       |                                    |      |                                     |                     |
|----|--------------|------------------------------|-------|------------------------------------|------|-------------------------------------|---------------------|
| 日本 | 593~         | 天皇中心の政治へ                     | 645~  | 古代天皇制の確立                           | 701  | 律令政治                                | 710                 |
|    | 聖徳太子の政治      | 遣隋使の派遣<br>十七条の憲法<br>冠位十二階の制度 | 大化の改新 | 蘇我氏の滅亡<br>班田・租庸調<br>班田・授法<br>公地・公民 | 大宝律令 | 税制の確立<br>戸籍と口分田<br>国司・郡司・里長<br>2官8省 | 平城京に都を移す<br>聖武天皇の政治 |
| 中国 | 隋            |                              |       | 唐                                  |      |                                     |                     |
|    | あすか 飛鳥文化 618 |                              |       | てんびやう 天平文化                         |      |                                     |                     |

## 1 東アジアの動き

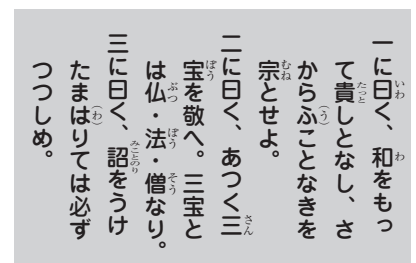
- (1) 中国…6世紀末に隋が統一し、強大な帝国をつくったが、内乱がおこってまもなくほろんだ。7世紀はじめ、唐が統一し、律令などを整えて全国を支配した。都の長安は、周りの国々や西アジアから人が集まり、人口100万をこえる国際都市として栄えた。
- (2) 朝鮮…6世紀になると、百済や新羅の勢力がのび、大和政権(ヤマト王権)は勢力を失った。7世紀半ば、新羅が唐と結んで勢力をのぼし、百済や高句麗をほろぼして半島を統一した。



▲7世紀半ばの東アジア

## 2 聖徳太子の政治

- (1) 聖徳太子…593年、推古天皇の摂政となり、蘇我馬子と協力して政治を行った。
- (2) 冠位十二階の制度…家柄にとらわれず、才能や功績で役人を登用した。
- (3) 十七条の憲法…天皇の命令に従うことなど、役人の心得を示した。
- (4) 遣隋使…小野妹子らを隋に派遣し、進んだ制度や文化を取り入れた。



▲十七条の憲法(一部)

## 3 律令政治の始まり

- (1) 大化の改新
  - ① 蘇我氏の強大化…太子の死後、蘇我氏の力はますます強まり、天皇の権威は失われた。
  - ② 大化の改新…645年、中大兄皇子・中臣鎌足らは蘇我氏をほろぼし、政治改革を始めた。
  - ③ 改革の方針…皇族や豪族が私有していた土地・人民を公地・公民とし、国・郡・里という地方支配の制度を整えた。また、戸籍をもとにした税制度をつくった。
  - ④ 大陸との関係…新羅・唐に攻められた百済を助けるために朝鮮半島に大軍を送るが、白村江の戦いで敗れ、朝鮮半島から手を引いた。
- (2) 天皇の位をめぐる争い…中大兄皇子は改革政治を進め、大津で即位して天智天皇となった。天智天皇の没後、672年に天皇の位をめぐる王申の乱がおこった。戦いに勝って即位した天武天皇は、天皇の権力を強め、律令政治の確立に努めた。このころ、富本銭がつけられた。
- (3) 大宝律令の制定
  - ① 701年、唐の律令にならって制定され、天皇を頂点とする中央集権制度が整い、律令政治が始まった。
  - ② 中央に2官8省の役所が設けられ、地方に国司・郡司が置かれた。九州北部には大宰府が置かれ、九州

の防衛や外交にあたった。

- ③ 班田収授法…6年ごとに戸籍をつくり、6歳以上の男女に口分田をあたえ、その人が死ねば返させた。
- ④ 農民は租・調・庸などの税や、雑徭などの労役、兵役の義務を負った。兵士の中には、防人として九州北部に行く者もあった。

#### 4 奈良の都

##### (1) 平城京

- ① 710年、唐の都長安にならって、奈良に新しい都が作られた。平城京は、ごぼんの目のように区画され、平城宮を中心にして寺院や貴族の大きな家が建てられた。
  - ② 唐にならって和同開珎という貨幣もつくられたが、都やその周辺でしか使用されなかった。
- (2) 聖武天皇…聖武天皇と光明皇后は、仏教の力で国を守ろうとして、国ごとに国分寺・国分尼寺を、都に東大寺を建てて大仏をつくった。
- (3) 公地・公民のくずれ

- ① 農民は重い税をかけられ、調・庸を都まで運んだり、兵役を課せられたりした。そのため、口分田を捨てて他の土地に移るなどする者も多かった。
- ② 人口の増加で口分田が不足したため、743年に墾田永年私財法を出して、新たに開墾した土地の永久私有を認めた。貴族や寺院は、逃亡した農民を使って私有地を広げた。これがのちの荘園となった。

#### 5 国際的な文化

- (1) 仏教の伝来…6世紀半ばに、百済から仏像や経典が贈られ、仏教が公式に伝えられた。

##### (2) 飛鳥文化

- ① 最初の仏教文化…聖徳太子が仏教の保護につとめたことから、当時の都のあった飛鳥地方を中心に、仏教をもとにした文化が栄えた。世界最古の木造建築である法隆寺や、釈迦三尊像など。
- ② 特色…おもに渡来人の子孫たちによって支えられていた。中国や西アジア・インドなどの文化の影響が見られる。

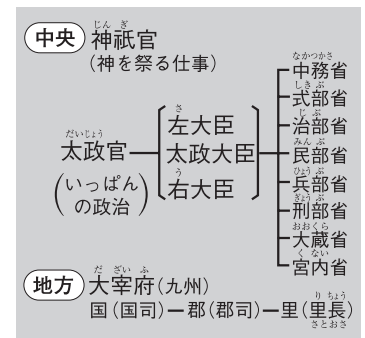
- (3) 遣唐使の派遣…奈良時代には、唐の制度や文化を取り入れるため、朝廷は遣唐使をさかんに送った。唐の僧鑑真は、朝廷の招きに応じて盲目となりながら来日し、唐招提寺を開き、仏教の普及につくした。

##### (4) 奈良時代の文化

- ① 天平文化…遣唐使の往来によって、仏教と唐の影響が強い文化が栄え、特に聖武天皇の時代(天平年間)に繁栄した。
- ② 特色…正倉院の宝物に見られるように、西アジアやインドから道具や楽器が日本に伝えられ、国際色豊かな文化が開花した。

##### (5) 歴史と文学

- ① 歴史書の編さん…国のおこりやいわれを確かめようとする動きがおこり、神話や伝承をもとにして「古事記」・「日本書紀」がまとめられた。また、地方の自然・産物・伝説などをまとめた「風土記」がつけられた。
- ② 万葉集…和歌がさかんになり、奈良時代の末には、天皇や貴族・防人・農民らの和歌を集めた「万葉集」がまとめられた。



#### ▲律令による役所のしくみ

|    |                |
|----|----------------|
| 租  | 田の面積に応じて稲を納める  |
| 調  | 織物や地方の特産物を納める  |
| 庸  | 労役のかわりに布などを納める |
| 雑徭 | 1年に60日以内の労働に従う |

#### ▲農民の税・労役の負担

地べたにわらをして 父母は枕のほうに 妻や子は足のほうに  
ねごろんだわたしに身をよせて  
なげきかなしんでいる ご飯をたくかまども くもが巢をはって  
しまった それなのにむちをもった  
里長が 税を出せと戸口でわめ  
いている こんなにもつらいもの  
か この世に生きていくことは  
(万葉集)

#### ▲「貧窮問答歌」(山上憶良作)

1 東アジアの動き 次の問いに答えなさい。

- (1) 6世紀末に中国を統一し、<sup>ホワンホー</sup>黄河と<sup>チャンチヤン(ちょうこう)</sup>長江を結ぶ大運河をつくった王朝はどこか。〔 〕
- (2) 7世紀はじめに中国を統一し、<sup>こうが</sup>律令などの法律を整えた王朝はどこか。〔 〕
- (3) (2)の王朝の都として発展し、国際的な文化が発達した都市はどこか。〔 〕
- (4) 7世紀に中国と結んで<sup>ペクチエ</sup>百済や<sup>コグリョ</sup>高句麗をほろぼし、<sup>ちうせん</sup>朝鮮半島を統一した国はどこか。〔 〕

2 聖徳太子の政治 次の文中の〔 〕にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 593年に〔 〕天皇<sup>せつしやう</sup>の摂政となった聖徳太子は、天皇中心の政治をめざした。〔 〕
- (2) 聖徳太子は、<sup>いえがら</sup>家柄にとらわれずに人材を登用するため、〔 〕の制度を設けた。〔 〕
- (3) 聖徳太子が役人<sup>こころえ</sup>の心得を示すために定めた〔 〕には、<sup>じゆがく</sup>仏教や<sup>じゆきやう</sup>儒学(儒教)の考え方が取り入れられている。〔 〕
- (4) 聖徳太子は<sup>おののいもこ</sup>小野妹子らを〔 〕として中国へ<sup>はけん</sup>派遣し、国交を結ぼうとした。〔 〕

3 律令政治の始まり 次の文中の〔 〕にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 645年に<sup>なかのおおえのおうじ</sup>中大兄皇子や<sup>なかとみのかまたり</sup>中臣鎌足らが<sup>そが</sup>蘇我氏を<sup>たお</sup>倒して始めた改革を〔 〕という。〔 〕
- (2) 百済を助けるために出兵した日本は、〔 〕の戦いで<sup>とう</sup>唐と<sup>シルラ</sup>新羅の<sup>しんらぎ</sup>連合軍に敗れた。〔 〕
- (3) 中大兄皇子は<sup>おおつし</sup>大津(滋賀県)で即位して、〔 〕天皇となった。〔 〕
- (4) 天皇の位をめぐる672年に〔 〕の乱<sup>おおあまの</sup>がおこり、戦いに勝った<sup>てんむ</sup>大海人皇子が即位して<sup>てんむ</sup>天武天皇となった。〔 〕
- (5) 地方の国を治めるため、中央の貴族が〔 〕として国ごとに派遣された。〔 〕
- (6) 〔 〕は九州の防衛や外交にあたった役所である。〔 〕
- (7) <sup>こせき</sup>戸籍にもとづいて6歳以上の男女に<sup>くぶんてん</sup>口分田をあたえ、死ぬと国に返させる制度を〔 〕という。〔 〕

4 奈良の都 次の問いに答えなさい。

- (1) 701年に唐の律令にならって定められた律令を何というか。〔 〕
- (2) 710年に奈良に移された新しい都を何というか。〔 〕
- (3) あたえられた田の面積に応じて農民に課せられた税を何というか。〔 〕
- (4) 743年に定められた、<sup>かいこん</sup>新しく開墾した土地をいつまでも私有してよいとした法令を何というか。〔 〕
- (5) <sup>しやうむ</sup>聖武天皇が都に建てて大仏を納めた寺を何というか。〔 〕

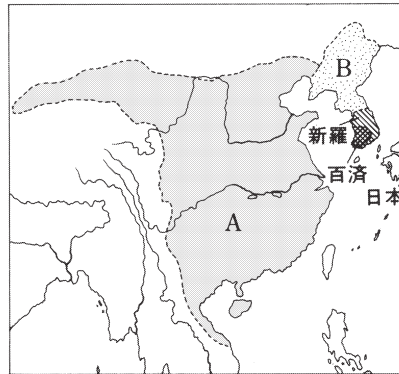
5 国際的な文化 次の問いに答えなさい。

- (1) 6世紀半ばに、日本に<sup>きやうてん</sup>仏教の<sup>ぶつぞう</sup>経典や<sup>ぶつぞう</sup>仏像を贈った国はどこか。〔 〕
- (2) 聖徳太子が活躍したころに栄えた<sup>ぶつぞう</sup>仏教文化を何というか。〔 〕
- (3) 何度も<sup>そうなん</sup>遭難して失明しながらも来日し、<sup>ふきやう</sup>仏教の普及につくした人物はだれか。〔 〕
- (4) 奈良時代に地方の産物や風土・伝説などをまとめた<sup>ちし</sup>地誌を何というか。〔 〕
- (5) 日本最古の和歌集を何というか。〔 〕

# 練習問題

1 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- 地図中のAは、6世紀末に中国を統一した王朝である。これを何というか。
- 聖徳太子がAの王朝へ送った使者を次から選び、記号で答えなさい。  
 ア 阿倍仲麻呂      イ 小野妹子  
 ウ 鑑真              エ 行基
- 右の史料は、聖徳太子が604年に定めた法令の一部である。これを何というか。
- 聖徳太子が建てた寺のうち、現存する世界最古の木造建築とされる寺は何か。
- 聖徳太子が政治を行ったところに栄えた文化を何というか。
- 地図中のBの王朝は、7世紀後半には新羅にほろぼされた。この王朝名を答えなさい。



一に曰く、和をもって貴しとなし、さからふことなきを宗とせよ。  
 二に曰く、あつく三宝を敬へ。三宝とは、仏・法・僧なり。  
 三に曰く、詔をうけたまはりては必ずつつしめ。

1

|     |  |
|-----|--|
| (1) |  |
| (2) |  |
| (3) |  |
| (4) |  |
| (5) |  |
| (6) |  |

2 右の年表を見て、次の問いに答えなさい。

- 年表中のAにより始められた政治の改革を何というか。
- 年表中のBのもとで定められた次の税・兵役・役職の名称をあとのア～クからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

| 年代  | できごと               |
|-----|--------------------|
| 645 | 中大兄皇子らが蘇我氏をほろぼす… A |
|     | ↓ア                 |
| 672 | 壬申の乱がおこる           |
|     | ↓イ                 |
| 701 | 大宝律令が完成する…………… B   |
|     | ↓ウ                 |
| 710 | 都を奈良の①京に移す…………… C  |
| 743 | 墾田永年私財法を出す…………… D  |
| 752 | 奈良の②寺の大仏が完成する      |

- ① 成年男子が地方の特産物を都まで運んで納める税。
  - ② 成年男子に課せられた兵役で、九州の防衛にあたった。
  - ③ 口分田の面積に応じて課せられた税。
  - ④ 中央の貴族が国ごとに派遣され、地方の政治を行った役職。  
 ア 租      イ 調      ウ 庸      エ 雑徭      オ 郡司  
 カ 国司      キ 防人      ク 大宰府
- 年表中の①・②にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。
  - 年表中のCのところにまとめられた書物にあてはまらないものを次から1つ選び、記号で答えなさい。  
 ア 日本書紀      イ 万葉集      ウ 風土記      エ 「魏志倭人伝」
  - 年表中のDのころの天皇の名を答えなさい。
  - 天智天皇の弟である天武天皇が即位した時期を年表中のア～ウから選び、記号で答えなさい。

2

|     |                          |
|-----|--------------------------|
| (1) |                          |
| (2) | ①                        |
|     | ②                        |
|     | ③                        |
|     | ④                        |
| (3) | ①                      京 |
|     | ②                      寺 |
| (4) |                          |
| (5) |                          |
| (6) |                          |